

第 4 章

施策 5 基本事業 1

評価対象年度	令和 6 年度		事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	9 日	
事務事業名	文化財保護対策事業						事業類型	普及啓発			
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館				歴史民俗G		記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり						■ 実施計画 対象事業		
	施策名		5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る								
	基本事業名		1 歴史資産の保護・保存と活用								
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	05	事業名	文化財保護対策事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		■ 単年度繰返 (開始年度 年度～)						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)		
事業概要											
【全体概要】 ・国民共有の財産である文化財に対して、重要性の啓発、保護意識の高揚及び愛護思想の普及啓発を図るとともに文化財の指定等について協議推進する。 ・文化財保護審議会は文化財の保存活用について、調査審査し教育委員会に建議する。							【業務内容】 ・文化財保護審議会開催・資史料等の整理・復元・保存及び調査研究・照会等による埋蔵文化財の保護指導・試掘調査・埋蔵文化財の発掘調査・記録				

1 現状把握の部(DOシート)													
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移							単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等							④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
文化財、民俗資料 市民							保護すべき文化財、資史料数	点	1665.	1991.	2000.	2010.	2020.
							那珂市の人口	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
②手段(具体的な事務事業のやり方)							⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
文化財保護審議会開催 文化財資料等の調査研究							文化財保護審査会の開催日数	回	2.	2.	2.	2.	2.
							発掘・試掘調査件数	件	4.	17.	10.	10.	10.
									0.	0.	0.	0.	0.
									0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)							⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
文化財としての資史料を発掘するとともに、保護保存を図り次世代へ継承する。							文化財指定数	件	87.	86.	87.	88.	89.
							指定文化財を知っている人の割合	%	67.1	68.4	72.	74.	77.
							文化財等が活用されていると思う市民の割合	%	46.2	45.5	65.	70.	75.
									0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移							単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,625	3,625	4,616	3,538	3,538	0					
	事業費計(A)	千円	2,625	3,625	4,616	3,538	3,538	0					
	人件費計(B)	千円	3,977	1.57人	3,660	0.78人	5,301	1.30人	5,301	1.30人	5,301	1.30人	
投入量(A)+(B)		千円	6,602	7,285	9,917	8,839	8,839						
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ		市文化財保護条例に基づき、市内に存在する文化的価値が高い文化財について、保存・活用に関する重要事項を計画的に調査審議し保存するため。											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		事業の推進により、指定文化財数の増加や史跡をはじめ文化財の保護活用についての関心が高まっている。											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		身近にある文化財への関心が高まった。埋蔵文化財の保護について、理解を深めるようにPRが必要ではないか。文化財保護行政にもっとも力を入れるべきではないか。											

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 前回評価のとおり、文化財の喪失、破壊を招かぬよう現状維持に努めたが、開発において一部の埋蔵文化財の破壊という事例が発生した。文化財保護対策の強化が必要である。	(見直し内容に関する予算への反映) ■ 削減 (事業費 3,625 千円) (人件費 3,660 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円) (人件費 0 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし
------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input type="checkbox"/> 妥当である 市内の重要な文化財の保護は、公共が行う義務的業務である。 先人の残した文化遺産は国民の貴重な財産であり、これを保護することは行政の責務である。	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 指定文化財の巡視及び埋蔵文化財に関しては関係課と情報を共有し、開発の計画を把握している。しかし、一部の埋蔵文化財が調査を経ずに開発されてしまう事案が発生しており、文化財保護活動の周知方法など成果向上の余地がある。	<input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない ● 廃止・休止の可能性がない 類似事業はない。 休止、廃止は貴重な文化財の喪失につながる。 史跡や天然記念物は状況を把握し迅速な対応が求められるため本業務は必須である。	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)
	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない ● 人件費の削減余地がない 必要な文化財保護及び啓発にかかる最低限の予算計上であり、事業には特殊な知識、経験、技術などを要する。そのため、費用は高額になる傾向にある。	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)
	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である ● 受益者負担を求める事業ではない 文化財保護は、公有・私有を問わず郷土発展の経緯及び将来の文化向上の基礎をなすきわめて公共性の高い事業であり、特定の受益者はいない。	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価			
効率性 評価			
公平性 評価			

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) } ■ 有効性の改善 □ 効率性の改善	

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

埋蔵文化財専門職員及び学芸員の育成が必要である。
専門性の高い職員を配置し、文化財保護の啓発を積極的に行うことで文化財の予期せぬ消滅を防ぐことができる。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (■ 見直し □ 現状維持)

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

埋蔵文化財専門職員及び学芸員の育成が必要である。
専門性の高い職員を配置し、文化財保護の啓発を積極的に行うことにより、文化財の予期せぬ消滅を防ぐことができる。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (□ 見直し □ 現状維持)

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	9 日			
						点検日						
事務事業名	額田城跡整備事業					事業類型	維持管理					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名		1 歴史資産の保護・保存と活用									
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 05	事業名 額田城跡整備事業	根拠法令	那珂市文化財保護条例					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ					<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 額田城跡指定範囲(文化財)を後世に伝えるための整備、管理及び保存をすることにより地域の活性化に活用していくために、年次計画に基づき地域の管理組合に委託する。額田城跡の現状維持、保存に努める。					【業務内容】 額田城跡保存管理計画(第2期)に基づく整備・管理(平成29年度から令和8年度) 額田城跡整備・管理委託 ①遊歩道・進入路整備、看板整備等 ②草払・倒木処理・間伐等							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
額田城跡、市民、市外来訪者						市民	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
						額田城跡計画面積	ha	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
額田城跡整備工事						保存会の年間整備活動日数	回	14.	12.	15.	15.	15.
額田城跡保存会に関する管理委託						整備工事発注件数	件	1.	1.	1.	1.	1.
草払・倒木処理・間伐等								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
額田城跡を保存管理し次世代へ継承する。文化財が広く市民に親しまれ、歴史と文化の理解の促進を図る。						整備活動人数	人	157.	157.	180.	180.	180.
						文化財等が活用されている と思う市民の割合	%	46.2	45.5	65.	70.	75.
						用地取得率	%	100.	100.	100.	100.	100.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	13,000	0	27,000	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,255	9,470	2,479	2,869	29,410	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	14,255	9,470	29,479	2,869	29,410	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	5,801	1.49人	3,096	0.65人	4,890	1.22人	4,890	1.22人		
投入量(A)+(B)		千円	20,056	12,566	34,369	7,759	34,300					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		額田城跡の早期の整備や保存を求める市民からの要望があり、平成10年に額田城跡を市文化財に指定した。その後、地元市民が中心になり額田城跡保存会を設立し活動を開始した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		額田城跡保存会の会員や地権者が高齢となり、今後の活動について若い世代に継承することが望まれている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		自然を利用した公園や城郭を整備し、「市民の憩いの場」としてほしい意見が寄せられている。										

第 4 章

施策 5 基本事業 2

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	6 日			
					点検日		年	月	日			
事務事業名	特別展開催事業					事業類型	イベントの開催					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る									
	基本事業名		2 伝統文化の継承と活用									
予算科目	一般会計	款	09	項	05	目	04	事業名	特別展開催事業	根拠法令	那珂市歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 ・歴史民俗資料館多目的ホールにおいて、特別企画展、季節展等を開催する。・来館者数の増大を図り、先人が残した文化遺産に対する見聞を広め、文化財保護の意識を高める。						【業務内容】 ・テーマに沿った資料展示を行う。 ・展示期間中に展示講演会、または展示解説会を開催する。 ・歴史講演会を開催する。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民						那珂市の人口	人	52700.	52365.	52500.	52300.	52000.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
特別展を企画し開催する。 ＜令和6年度実績＞ ・季節展「端午の節句展」、「正月飾り展」、「雛人形展」 ・特別展「いいね！さわってワクワク展」、「色彩の貴公子寺門彦壽展」						企画展等催し物開催回数	回	2.	5.	5.	5.	5.
						講演会実施回数	回	6.	3.	3.	3.	3.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が文化財に接する機会を増やすことにより、文化財に対する関心や興味を高め、文化財保護意識の高揚を図る。						入館者数	人	4617.	4742.	5500.	6000.	6500.
						文化財等が活用されている と思う市民の割合	%	46.2	45.5	65.	70.	75.
								0.	0.	0.	0.	0.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	380	856	1,103	1,095	1,095	0	0			
	事業費計(A)	千円	380	856	1,103	1,095	1,095	0	0			
	人件費計(B)	千円	3,739	0.62人	5,331	1.10人	5,352	1.17人	5,352	1.17人		
投入量(A)+(B)		千円	4,119	6,187	6,455	6,447	6,447					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		資料館施設及び収蔵資料を有効活用し、市民の歴史文化への関心を高めることを目的として開始した。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか？ 開始時期と比べてどう変わりましたか？)		特別企画展の開催について広く周知されてきて、市内のみならず県外からの来館者も増えている。指標となっている「文化財が活用されている」と感じている人も増えてきている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)		来館者アンケートにより、継続的に企画展開催を希望する意見が多く寄せられている。										

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p> <p>空調設備の大規模修繕を終え計画通りの企画展を開催することができた。内容も、体験型や資料館での初展示を取り入れるなど展示内容の充実を図ったが、期待していた程の入館者数増加にはつながらなかった。</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 削減（事業費 0 千円） （人件費 0 千円） <input checked="" type="checkbox"/> 増加（事業費 856 千円） （人件費 5,331 千円） <input type="checkbox"/> 反映なし
-------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではないが、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	<input type="checkbox"/> 妥当である 市内の様々な資料を調査、研究しその成果としての企画展開催は、広く市民に文化財の保護への理解、認識を深めてもらう機会となるため、市が主体となりその重要性を伝える手段であり、文化財保護を担う市の責務である。	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 文化財や史実の新たな発見や事実に基づき展示を行っている。 また、展示テーマについてアンケートなどから市民の要望にこたえられるよう情報を収集しているが、より関心を持ってもらえるような企画展テーマや展示方法の工夫の余地がある。	<input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない 廃止・休止の可能性がない 歴史資料を扱うという特異性から類似事業はない。 また、歴史遺産・伝統文化継承や文化財保護意識の衰退につながる恐れがあるため廃止、休止はできない。	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない 人件費の削減余地がない 年5回企画展を開催しているが、業務に携わる職員数は最低限である。	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である 事業主旨、事業規模から個人負担にはなじまない。	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価			
効率性 評価			
公平性 評価			

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合
☒ 継続

☒ 見直し(改革・改善)

☐ 目的の再設定
☐ 公平性の改善

☐ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

☒ 有効性の改善 ☐ 効率性の改善

※担当課長、グループ長、担当者が記載

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)

市民のニーズと既存の研究成果を照らし合わせるにより、コストをかけずに魅力的で文化財に関心を持ってもらえるような企画展を開催する。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合

☒ 継続

☒ 見直し ☐ 現状維持

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)

市民のニーズと既存の研究成果を照らし合わせるにより、コストをかけずに魅力的で文化財に関心を持ってもらえるような企画展を開催する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合

☐ 継続

☐ 見直し ☐ 現状維持

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合

☐ 継続

☐ 見直し ☐ 現状維持

評価対象年度	令和 6 年度		事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	5 月	11 日	
事務事業名	各種団体補助事業				事業類型	補助金					
担当部課G等	教育委員会 歴史民俗資料館		歴史民俗G		記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第4章 未来を担う人と文化を育むまちづくり					■ 実施計画 対象事業			
	施策名		5 歴史資産と伝統文化を保存・継承し活用を図る								
	基本事業名		2 伝統文化の継承と活用								
予算科目	一般会計	款 09	項 05	目 04	事業名 各種団体補助事業	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ ■ 単年度繰返 (開始年度 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要											
【全体概要】 ・市内埋蔵文化財の調査・研究及び文化財行政に協力し、その保護育成に努め、市民の文化財愛護思想の啓発を図るため、補助金を交付し活動を奨励する。 ・郷土芸能保存会の活動を支援するため、補助金を交付し活動を奨励する。					【業務内容】 那珂市文化財愛護協会や郷土芸能保存会の活動を支援するため、団体活動費や運営費を補助している。						

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市内歴史・伝統文化等団体。						那珂市文化財愛護協会 員数	人	28.	33.	30.	30.	30.
						郷土芸能保存会 会員数	人	76.	76.	78.	78.	78.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
団体活動を支援するため補助金を交付する。						那珂市文化財愛護協会 補助金	円	113000.	63000.	63000.	63000.	63000.
						門部ひよっとこ踊り 保存会	円	22000.	22000.	22000.	22000.	22000.
						菅谷大助ばやし 保存会	円	45000.	45000.	45000.	45000.	45000.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
郷土の歴史文化を後世に継承していく。						那珂市文化財愛護協会 活動回数	回	10.	12.	13.	13.	13.
						門部ひよっとこ踊り 保存会活動回数	回	7.	25.	17.	17.	17.
						菅谷大助ばやし 保存会活動回数	回	2.	30.	12.	12.	12.
								0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移												
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	源地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	180	130	130	130	130	130	0			
	事業費計(A)	千円	180	130	130	130	130	130	0			
	人件費計(B)	千円	1,104	0.03人	1,152	0.20人	176	0.19人	176	0.19人		
投入量(A)+(B)	千円	1,284	1,282	306	306	306	306					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		市内の歴史・文化を継承する団体を支援するため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		構成員の高齢化が進み、若い世代の参加が望まれる。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		郷土伝統芸能継承を支援する事業として理解を得ている。										

(4) 前回()の評価結果に対する改革・改善の取り組み					
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価)	(前回評価結果を踏まえて見直した内容)	(見直し内容に関する予算への反映)		
	<input type="checkbox"/> 終了	新規評価対象	<input type="checkbox"/> 削減（事業費）	0	千円
	<input type="checkbox"/> 廃止			0	千円（人件費）
	<input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 増加（事業費）	0	千円
	<input type="checkbox"/> 統廃合			0	千円（人件費）
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
	<input type="checkbox"/> 現状維持				

2 評価の部(SEE)*原則は事後評価、ただし複数年事業は途中評価

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>郷土伝統芸能を継承していくうえで補助金を交付することは市の事業として妥当である。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>補助金の執行及び団体活動は適正に行われている。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性はある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>郷土伝統芸能継承を支援するという特殊性から、統廃合および事業の廃止、休止の可能性はない。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりのコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p>支援団体の活動内容を精査し、適正な補助を行っている。 また、人件費に関しても必要最低限の職員で事務を行っているため削減の余地はない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>郷土伝統芸能継承を支援する事業であり、受益者負担を求める事業ではない。</p>

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合
☒ 継続 → ☐ 見直し(改革・改善) → { ☐ 目的の再設定
☐ 公平性の改善 }
→ ■ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)
今後も適正に補助事業を行う。

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☒ 継続 (☐ 見直し ☒ 現状維持)

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 統廃合 ☐ 継続 (☐ 見直し ☐ 現状維持)